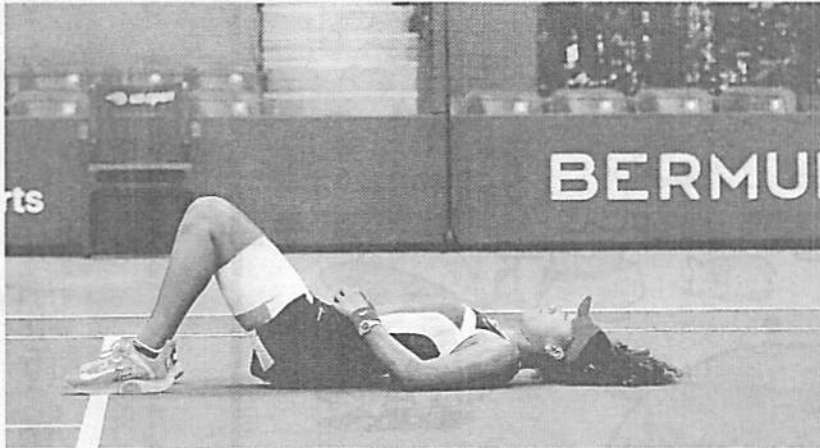


大坂 全米2度目V

マスクで人種差別抗議貫く

「負けられない、祖先に感謝」



テニスの全米オープン女子シングルス決勝でビクトリア・アザレンカを破って2年ぶり2度目の優勝を果たし、コートに横たわる大坂なおみ(いずれも12日、ニューヨーク) (AP=共同)

【ニューヨーク共同】女子テニスで世界ランキング9位の大坂なおみ(22)は日清食品が12日、ニューヨークで行われた全米オープン女子シングルス決勝で元世界1位のビクトリア・アザレンカ(ベラルーシ)を1-6、6-3、6-3で下し、2018年大会以来2度目の優勝を挙げた。四大大会を昨年の全豪オープン以来3度目の頂点に立ち、女子の李娜(中国)を抜いてアジア勢単独最多となった。



テニスの全米オープンで、人種差別に抗議して黒人被害者名が入ったマスクを着用した大坂なおみ (AP、USAトゥデー、グッティ=共同)

一夜明けた13日には大会会場で鮮やかなエスニック調のワンピース姿で優勝トロフィーを掲げ、記念撮影に納まった。父がハイチ出身、母が北海道生まれの大坂はツイッターに「祖先に感謝したい。彼らから受け継いだ血が体中を巡り、負けるわけにはいかないと思い起させてくれたので」とつぶやいた。大坂は8月下旬のツアー大会で左太ももを負傷して決勝を棄権したが、今大会で7試合を勝ち、優勝賞金300万円(約3億1800万円)を手にした。ツアー通算6個目のタイトルとなり、全米終了後の世界ランクで3位に浮上した。大坂は白人警官による黒人男性暴行死事件などの人種差別に抗議するため、決勝までの試合数に合わせて、被害者名が入ったマスクを7枚用意。1回戦から入場時などに着用し、人種差別反対の意思を発信し続けた。

9月14日(月) 神戸新聞夕刊分

政治とスポーツは別。とは言いながら闘いの中に自分のモチベーションを上げるためであったり、人として闘うべきものを許される範疇で行動することはあって然るべきだと思います。22歳の若者から学ばせてもらえますね。

ただ、時折聞こえる抗議からの暴動は正当なことかどうか。